

# 3 級修復 (前歯部隣接面修復)



**術前**  
 上顎左側犬歯遠心隣接面にう蝕が認められる。  
 唇側面からは、う蝕は見えない。

## Step 1 術前検査

### ■ 歯間分離

歯間分離器 (セパレーター) やくさびで歯間分離し、隣接面の検査を行いやすくする。



前歯部用歯間分離器  
 (アイボリーのセパレーター)



くさび

### ■ 電氣的歯髄診断

歯髄の生死を検査する。  
 (『歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック』 p.3 参照)

### ■ 色調選択 (シェードガイドを準備)

歯質が乾燥する前に、無影灯を消して行う。



### ■ 局所麻酔

必要に応じて局所麻酔を施す。  
 (『歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック』 p.4, 5 参照)

### ■ ラバーダム防湿

必要に応じてラバーダム防湿を施す (p.19 参照)。

## Step 2 う蝕除去, 窩洞形成

### ■ う窩の開拡~う蝕除去



① 球状ダイヤモンドポイント(↓)でエナメル質を切削する。



② う蝕除去用エキスカベータで着色軟化歯質を大まかに除去する。  
 (アルコールワッテで清拭する)



う蝕検知液  
 1 滴にスポンジ 1 つ



10 秒間塗布 → 水洗

③ 洗浄時に、う蝕検知液が飛び散らないように、十分にバキュームする。



マイクロモーター用  
 スチールラウンドバー  
 (特小と小を準備する)



④ 染色した部分をマイクロモーターで除去して、う蝕除去が完了する。

### ■ 窩洞形成



⑤ エアータービン用球状ダイヤモンドポイント(↓)で窩縁を整理して、窩洞形成が完了する。